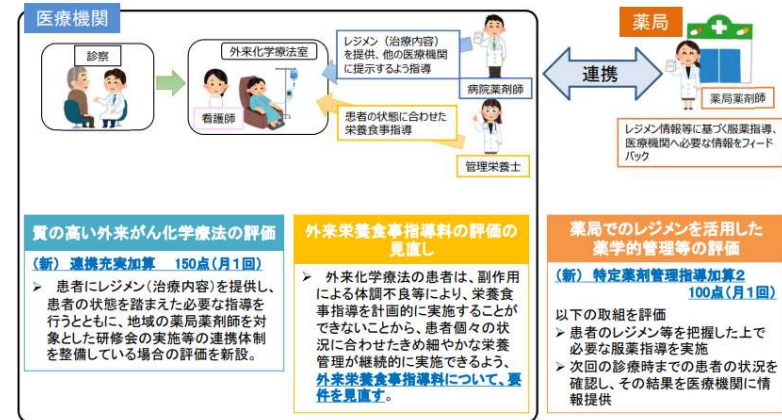


当院の連携充実加算の運用について

兵庫医科大学病院 薬剤部
中村 豪志

外来がん化学療法の質向上のための総合的な取組



連携充実加算 施設基準

◆地域の保険医療機関及び保険薬局との連携体制として、次に掲げる体制が整備されていること。

1. 当該保険医療機関で実施される**化学療法のレジメンをホームページ等で閲覧できるようにしておくこと。**
2. 当該保険医療機関において外来化学療法に関わる職員及び地域の保険薬局に勤務する薬剤師等を対象とした**研修会等を年1回以上実施すること。**
3. 他の保険医療機関及び保険薬局からの**レジメンに関する照会や患者の状況に関する相談及び情報提供等に応じる体制を整備すること。**また、当該体制について、**ホームページや研修会等で周知すること**

連携充実加算 算定要件

◆化学療法の経験を有する医師又は化学療法に係る調剤の経験を有する薬剤師が患者に注射又は投薬されている**抗悪性腫瘍剤等の副作用の発現状況を評価するとともに、副作用の発現状況を記載した治療計画等の治療の進捗に関する文書を患者に交付すること。**

・当該文書に記載される事項

- ① 患者に実施しているレジメン
- ② 当該レジメンの実施状況
- ③ 患者に投与した抗悪性腫瘍剤等の投与量
- ④ 主な副作用の発現状況
- ⑤ その他医学・薬学的管理上必要な事項

連携充実加算 当院の運用

- ◆ 算定開始時期：2021年11月
- ◆ 対象レジメン：特定のレジメンを対象として実施
- ◆ 当院の運用方法について
 - 1) レジメンの公開
 - 2) 研修会の開催予定
 - 3) 照会への対応体制
 - 4) 患者情報のやり取り

連携充実加算 当院の対象レジメン

・抗EGFR抗体製剤を含むレジメン

アービタックス®（セツキシマブ）
ベクティビックス®（パニツムマブ）
ボートラーザ®（ネシツムマブ）

・免疫チェックポイント阻害薬を含む レジメン（ただし単剤は対象外）

オブジーボ®（ニボルマブ）
ヤーボイ®（イピリムマブ）
キイトルーダ®（ペムブロリズマブ）
テセントリク®（アテゾリズマブ）
イミフィンジ®（デュルバルマブ）
バベンチオ®（アベルマブ）

- ◆ 月1回のみ実施
- ◆ レジメン変更となった場合は算定終了
- ◆ 対象外になる場合
 - ・患者の同意が得られない場合（必須ではないが導入時に説明を実施）
 - ・点滴日に院外処方せんがない場合
 - ・治験患者の場合

連携充実加算 当院の対象患者

◆ 対象患者には院外処方せんに
「連携充実加算」の印を押印

連携充実加算 当院の運用

1) レジメンの公開

- 薬剤部ホームページ内にて公開
- 外来で使用されかつ、使用頻度の高いレジメンを公開
→すべてのレジメンは公開していない



連携充実加算 当院の運用

1) レジメンの公開

- 薬剤部ホームページ内にて公開
- 外来で使用されかつ、使用頻度の高いレジメンを公開
→すべてのレジメンは公開していない
- がんセンターホームページからもアクセス可能

レジメンの公開



レジメンの公開

- 対象がん種、レジメン名、1コース期間、投与順序、支持療法も含めた投与薬剤、投与量、投与方法、投与日や内外用の処方について公開
- 患者の状況に応じて、個々に変更の可能性あることはご留意ください。

対象：結腸、直腸がん				
レジメン名：FOLFIRI+Cmab(q2w)				
1コース：14日間				
No.	薬品名	投与量	投与方法	Day
1	生理食塩液 デキサメタゾン ダウニセドロン ホスアプレピタント	100mL 6.6mg 9mg 150mg	30分点滴	○
2	生理食塩液	50mL	全期	○
3	生理食塩液 セツキタゾ	500mL 500mg/rf	120分点滴	○
4	生理食塩液 イリノタキソ	250mL 150mg/rf	120分点滴	○
4	生理食塩液 レボホリナート	250mL 200mg/rf	120分点滴	○
5	生理食塩液 SFU	50mL 400mg/rf	15分点滴	○
6	生理食塩液	50mL	全期	○
7	生理食塩液 SFU	2400mg/rf	45時間 持続注入	○

※3回目以降は350mL
※第2回目以降は90分点滴、3回目以降は60分点滴

備考
・点滴開始時にジフェンヒドราม50mg内服
・必要時、Mg補正を実施
・ヘパリン類似物質油性クリーム処方
・必要時、ステロイド外用剤、ミチゲル（またはケナダロン）処方

連携充実加算 当院の運用

- 2) 研修会の開催予定
⇒ホームページ上でも案内を実施
少なくとも年1回以上は実施
- 3) 照会への対応体制
⇒問い合わせ窓口としては薬剤部
薬品情報管理室
相談内容によっては医師、看護師、管理栄養士などと連携して対応

連携充実加算 当院の運用

- 2) 研修会の開催予定
→ホームページ上でも案内を実施
少なくとも年1回以上は実施

- 3) 照会への対応体制
→問い合わせ窓口としては薬剤部
薬品情報管理室
相談内容によっては医師、看護師、管理栄養士などと連携して対応

連携充実加算について

研修会の開催

※2021（令和3）年度 開催

2021年10月13日(水) 第1回連携充実加算に関する研修会

演題「レジメンについて」
白鳥医科大学病院 薬部
日本医療薬学会 がん専門薬部 薬部委員

演題「当院での連携充実加算の運用について」
白鳥医科大学病院 薬部
日本医療薬学会 がん専門薬部 中村健志
会場：Microsoft teamsを用いたWeb研修会
時間：10時

※必ず参加しなさい

研修会の開催

研修会の開催は、あらかじめ研修会の開催予定表を参照し、実施します。
研修会の開催は、あらかじめ研修会の開催予定表を参照し、実施します。

研修会の開催

研修会の開催は、あらかじめ研修会の開催予定表を参照し、実施します。
研修会の開催は、あらかじめ研修会の開催予定表を参照し、実施します。

連携充実加算 当院の運用

- 4) 患者情報のやり取り
- 兵庫医大病院→保険薬局
治療情報提供書（兵庫医大病院）
を患者へ交付

- 保険薬局→兵庫医大病院
治療情報提供書（保険薬局用）
を使用して情報を病院へFAX

※副作用評価の参考となるよう
副作用グレード評価表も掲載

連携充実加算について

当院では、患者さんに安全かつより質の高いがん化学療法を提供するため、注射剤がん薬を含む外来がん化学療法について当院と保険薬局との情報共有による連携を開始する予定です。

がん化学療法における情報提供

がん化学療法における情報提供ツールとして、治療情報提供書（兵庫医大病院・保険薬局用）を作成しています。患者さんの副作用マネジメントおよび当院への情報提供にご活用ください。なお、保険薬局からの情報提供は患者さんの治療に応じた提供書をご確認ください。

兵庫医大病院→保険薬局 治療情報提供書 記載例（兵庫医大病院用）
保険薬局→兵庫医大病院 治療情報提供書 がん化学療法（保険薬局用）PDF版
治療情報提供書 がん化学療法（保険薬局用）Excel版
治療情報提供書 免疫チェックポイント阻害薬（保険薬局用）PDF版
治療情報提供書 免疫チェックポイント阻害薬（保険薬局用）Excel版

また、患者さんの副作用評価の参考となるよう副作用グレード評価表を掲載しております。患者さんの副作用マネジメントにご活用ください。

治療情報提供書

兵庫医大病院→保険薬局

●基本情報 □連携充実加算に関する情報読み

診療科 下痢消化器外科 主治医名 西宮次郎
ID 10000000000000000000 患者氏名 西宮 太郎
氏名 兵庫 太郎 性別 男性
生年月日 1980年 03月 18日 年齢 41歳

●実施しているレジメン
大腸がん mFOLFOX8+Oma 1コース14日間
実施状況 4 コース目 Day 投与量 (mg/body) 本日投与 減量あり

セキネジマブ 430 □ □
オキサリプラチン 117 □ □
レボレコリチン 340 □ □
5-FU(点滴) 4150 □ □

- 基本情報として、診療科、主治医名、患者氏名、身長、体重、体表面積、年齢、性別などを記載

- レジメンの情報として、レジメン名、コース期間、実施状況、薬剤名、投与量、投与状況（本日投与の有無、減量の有無）を記載

治療情報提供書(兵庫医大病院→保険薬局)

副作用 Grade 0 Grade 1 Grade 2 Grade 3 Grade 4

発熱 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上

嘔吐 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

食欲不振 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

便秘 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

口内炎 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

喉・鼻切れ 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

発熱 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上

嘔吐 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

食欲不振 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

便秘 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

口内炎 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

喉・鼻切れ 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

治療情報提供書

兵庫医大病院→保険薬局

- 当院薬剤師が点滴中に患者の状況を聞き取って、有害事象の発現状況をCTCAEのGrade評価で記載し、情報提供

- その他に管理上必要な事項があれば、別途記載

- 保険薬局の先生方への案内や当院への連絡先についても記載

※治療情報提供書の交付は、月1回連携
充実加算算定時のみ

治療情報提供書(兵庫医大病院→保険薬局)

副作用 Grade 0 Grade 1 Grade 2 Grade 3 Grade 4

発熱 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上

嘔吐 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

食欲不振 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

便秘 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

口内炎 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

喉・鼻切れ 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

発熱 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上 38.5℃以上

嘔吐 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

食欲不振 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

便秘 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

下痢 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

口内炎 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

喉・鼻切れ 1回以上 2回以上 3回以上 4回以上 5回以上

治療情報提供書

保険薬局⇒兵庫医大病院



- 有害事象のプロファイルが異なるため、「免疫チェックポイント阻害薬」と「がん化学療法」の2種類の形式あり。各々PDFファイル、EXCELファイルを公開。
- 免疫チェックポイント阻害薬とがん化学療法の併用の場合は2種類とも使用。
- 有害事象の記載は免疫チェックポイント阻害薬は症状の有無、がん化学療法はgrade評価でのチェック形式
- 緊急性が高い場合は、保険薬局より医師へ連絡するか、患者より医師へ連絡を
- 対応内容を保険薬局へFAX

免疫チェックポイント阻害薬

兵庫医科大学 神戸 FAX連絡先: 兵庫医科大学 薬学部 薬務部 薬務管理室 078-44-0141

治療情報提供書 (免疫阻害薬・免疫増進薬)

免疫チェックポイント阻害薬 (ICPI)

【投与経路】 □ 投与時 □ 電話フォローアップ時 □ 患者からの問い合わせ □ その他

● 病院への情報提供が必要と判断した場合は、FAXをお願いします。
● 緊急性のある場合は、医師に連絡、または患者より医師に連絡するようにしてください。

【投与レジメン】	年	月	日	本人	家族	その他
症状	なし	あり	なし	あり		
38℃以上の発熱	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食事の量に比べて体重の増加・減少	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐、腹痛、便秘、下痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐
日常生活に支障のある倦怠感	☐	☐	☐	☐	☐	☐
浮腫	☐	☐	☐	☐	☐	☐
呼吸器	☐	☐	☐	☐	☐	☐
息切れ・息苦しさ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
咳嗽	☐	☐	☐	☐	☐	☐
肺病	☐	☐	☐	☐	☐	☐
無月経	☐	☐	☐	☐	☐	☐
内分	☐	☐	☐	☐	☐	☐
分泌	☐	☐	☐	☐	☐	☐
多尿	☐	☐	☐	☐	☐	☐
尿の量や回数が増える	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐に無関係に持続する腹痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐
消化	☐	☐	☐	☐	☐	☐
腹痛・嘔吐・下痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐
1日4回以上の下痢もしくは排便の増加	☐	☐	☐	☐	☐	☐
血尿、黒色尿	☐	☐	☐	☐	☐	☐

注記: FAXによる情報提供は、医師側のみではありません。
医師側・処方箋提出は、処方箋に添付して送付。
医師側の場合は、治療情報提供書の添付・併用は医師側の責任で実施することとさせていただきます。

治療情報提供書

保険薬局⇒兵庫医大病院



- 有害事象のプロファイルが異なるため、「免疫チェックポイント阻害薬」と「がん化学療法」の2種類の形式あり。各々PDFファイル、EXCELファイルを公開。
- 免疫チェックポイント阻害薬とがん化学療法の併用の場合は2種類とも使用。
- 有害事象の記載は免疫チェックポイント阻害薬は症状の有無、がん化学療法はgrade評価でのチェック形式
- 緊急性が高い場合は、保険薬局より医師へ連絡するか、患者より医師へ連絡を
- 対応内容を保険薬局へFAX
※対象レジメンのみでご利用ください

がん化学療法

兵庫医科大学 神戸 FAX連絡先: 兵庫医科大学 薬学部 薬務部 薬務管理室 078-44-0141

治療情報提供書 (免疫阻害薬・免疫増進薬)

免疫チェックポイント阻害薬 (ICPI)

【投与経路】 □ 投与時 □ 電話フォローアップ時 □ 患者からの問い合わせ □ その他

● 病院への情報提供が必要と判断した場合は、FAXをお願いします。
● 緊急性のある場合は、医師に連絡、または患者より医師に連絡するようにしてください。

【投与レジメン】	年	月	日	本人	家族	その他
Grade 1	Grade 2	Grade 3				
悪心	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
食欲不振	☐	☐	☐	☐	☐	☐
下痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐
便秘	☐	☐	☐	☐	☐	☐
浮腫	☐	☐	☐	☐	☐	☐
呼吸器	☐	☐	☐	☐	☐	☐
息切れ・息苦しさ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
咳嗽	☐	☐	☐	☐	☐	☐
肺病	☐	☐	☐	☐	☐	☐
無月経	☐	☐	☐	☐	☐	☐
内分	☐	☐	☐	☐	☐	☐
分泌	☐	☐	☐	☐	☐	☐
多尿	☐	☐	☐	☐	☐	☐
尿の量や回数が増える	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
嘔吐に無関係に持続する腹痛	☐	☐	☐	☐	☐	☐
消化	☐	☐	☐	☐	☐	☐
腹痛・嘔吐・下痢	☐	☐	☐	☐	☐	☐
1日4回以上の下痢もしくは排便の増加	☐	☐	☐	☐	☐	☐
血尿、黒色尿	☐	☐	☐	☐	☐	☐

注記: FAXによる情報提供は、医師側のみではありません。
医師側・処方箋提出は、処方箋に添付して送付。
医師側の場合は、治療情報提供書の添付・併用は医師側の責任で実施することとさせていただきます。

保険薬局からの情報への対応について

- 保険薬局からの治療情報提供書(FAX)、電話は薬剤部薬品情報管理室で受け付ける。
- 対応が必要と判断した場合は主治医に連絡をとり対応
→対応内容を電子カルテへ記載し、治療情報提供書をスキャン
- 対応の必要がないと判断した場合はスキャンのみ実施
- 保険薬局へ返書をFAX



副作用 グレード評価表

■ : 病院に緊急連絡が必要な症状の目安

副作用名	Grade1	Grade2	Grade3
悪心	・ムカつきはあるが通常通りの食事摂取が可能	・食べる量は低下したが、食事、水分の摂取がある程度可能	・水分もほとんど取れない
嘔吐	・1日に1〜2回の嘔吐	・1日に3〜5回の嘔吐	・1日に5回以上の嘔吐
倦怠感	・だるさはあるが通常通りの生活を送れている	・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・だるさで日常生活がままならない
食欲不振	・食欲の低下はあるが通常通りの食事摂取が可能	・食べる量は低下したが、体重減少が10%未満	・体重減少が10%以上
便秘	・緩下薬や浣腸を不定期に使用している	・緩下薬や浣腸を定期的に使用している	・浣腸を要する頻回な便秘
下痢	・通常と比べて1日に1〜3回排便回数の増加を認める	・通常と比べて1日に4〜6回排便回数の増加を認める	・通常と比べて1日に7回以上排便回数の増加を認める
口内炎	・軽度の症状で通常通りの食事摂取が可能	・食べづらく加えて食後の痛みや出血が出現	・疼痛が十分に食事、水分摂取が行えない
咳・息切れ	・30分程度の労作で息切れ	・わずかな労作で息切れ・咳が出る	・安静時の息切れ・咳が出る
発熱	・38℃〜39℃の熱が出る	・39℃〜40℃の熱が出る	・40℃以上の熱が出るが、24時間以上の持続はない
味覚障害	・味覚の変化はあるが、通常通りの食事摂取が可能	・食生活に影響が出る味覚変化	・
皮膚障害	・体表面積10%以下の紅色丘疹、腫れがある	・体表面積10〜30%の紅色丘疹、腫れがある	・体表面積30%以上の紅色丘疹、腫れがあり、中等度または重度の症状がある
爪周炎	・爪周囲の腫れや紅斑	・爪周囲の腫れや紅斑	・爪周囲の腫れや紅斑
皮膚乾燥・亀裂	・紅斑や痛みを伴わず、治療不要	・紅斑や痛みを伴わず、治療不要	・紅斑や痛みを伴わず、治療不要
手足症候群	・痛みを伴わずに少しの皮膚の硬化	・痛みを伴わずに少しの皮膚の硬化	・痛みを伴わずに少しの皮膚の硬化
その他、皮膚障害	・痛み・痒みを伴わずに軽度の症状	・痛み・痒みを伴わずに軽度の症状	・痛み・痒みを伴わずに軽度の症状

副作用 グレード評価表

□ : 病院に緊急連絡が必要な症状の目安

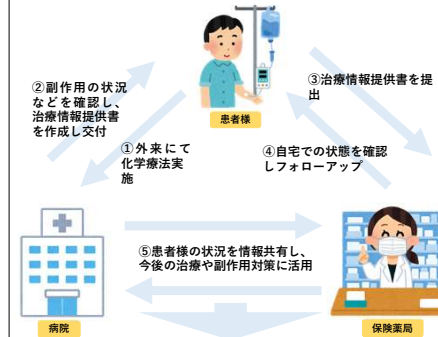
副作用名	Grade1	Grade2	Grade3
腹痛	・軽い痛み	・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・日常生活がままならない
大腸炎	・臨床・検査所見のみで治療が不要	・腹痛がある ・発熱・血便が認められる	・重症の腹痛 ・頻回排便状態がある
筋肉痛・関節痛	・軽い痛み	・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・日常生活がままならない
筋力低下	・症状があるが、臨床所見上認めない	・臨床所見上認めめる ・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・日常生活がままならない
咽の炎症・決壊	・治療が不要	・わずかな筋力低下が見られる ・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・顕著な筋力低下が見られる ・日常生活がままならない
浮腫	・指で押すとしばらく跡が残る	・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・日常生活がままならない
末梢神経障害	・日常生活に支障ない程度の症状	・歩行に多少の支障あり ・食事・着衣が難しい、物が持ちにくいなど、日常生活の一部に制限が出る	・歩行に支障あり ・ボタンが掛けられない、お箸が持てない、入浴できないなど日常生活がままならない
コリン作動性症状	・一時的な鼻水、発汗、嘔吐症状等はあるが日常生活に支障なし	・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る ・頻度の鼻水、発汗、嘔吐症状等がある	・継続的な鼻水、発汗、嘔吐症状等があり日常生活がままならない
高血圧	・120～130/80～89mmHg	・140～159/90～99mmHg	・160/100mmHg以上
聴力障害	・軽度の症状はあるが日常生活に支障なし	・聴覚器/治療は不要であるが、筋力低下がある ・身の回りのことは出来るが、日常生活の一部に制限が出る	・聴覚器/治療が必要 ・日常生活がままならない
出血性顆粒炎	・肉眼でわからない血尿（検査でわかる） ・尿原細胞の増加、貧血感、尿原細胞、尿原細胞など	・尿の色が赤みを帯びる ・尿原細胞・カール・留置、膀胱洗浄を要する	・肉眼でわかる血尿 ・輸血、薬剤投与や入院が必要
血管外漏出	・疼痛を伴わない浮腫	・疼痛、浮腫、硬結などを伴う紅斑、静脈炎	・潰瘍または壊死
アナフィラキシー	—	—	・気管支痙攣、血圧低下、浮腫、呼吸困難がある ・皮膚症状の発現は認めない

Common Terminology Criteria for Adverse Events (CTCAE) Version 5.0.3 第 5 版

患者さんへの有害事象の評価にご活用ください

当院外来で化学療法を受けられる患者様へ

当院では、外来で化学療法を行っている患者様に安心して治療を行っていただけるように、保険薬局との連携を強化する「連携充実加算」を実施しています。



<連携充実加算とは>

○病院の医師・薬剤師・看護師・栄養士などで患者様の副作用状況を把握し対策を講じるだけでなく、**保険薬局とも連携を取り、より質の高い医療を提供するもの**です。

○患者様の情報の一部（治療内容や副作用の状況など）を病院・保険薬局間で共有します。

○保険薬局との連携が必要と思われる**特定のレジェン（薬剤）**にて治療を行っている患者様において連携を行っています。

○連携充実加算についての説明を受け、同意して頂いた場合に治療情報提供書を作成しお渡ししますので、**保険薬局へ提出して下さい**。

○全ての保険薬局で対応しているわけではありませんので、ご了承下さい。（当院近隣の保険薬局では、連携体制が整っています。）

○連携充実加算に関する概要の説明は以上になります。この後、副作用の状況などについてお伺いし、治療情報提供書を作成させていただきます。

自宅での状態を確認することで、副作用の早期発見・治療に繋がり、QOL（生活の質）の向上が期待できる。

最後に

- レジメンや副作用などの情報共有に基づき、病院および保険薬局がそれぞれの機能を発揮して、がん化学療法の質的向上に貢献することが期待されている。
- より質の高い医療の提供のため、病院—保険薬局間での連携強化へご協力のほどよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました